

分野：②生態系・生物多様性

## (林の生き物調査)

環境アドバイザー

福田 直

対象 けやの森学童保育室児童と  
水富小学童保育室児童（45人）

所要時間  2時間

場所 雑木林（日高市馬引沢）

実施時期 令和3年8月26日

## 概要

林の生き物調査

プログラムの  
ねらい

里山林の自然の成り立ちを観察し、里山林と人との関わりの在り方を考える。

## プログラムの内容

## 1 諸注意など（10分）

観察のポイント、コロナ感染や熱中症防止、生きもの観察のルールなどについての説明  
班編制

## 2 自然観察（70分）

- ・ 林を構成する樹種を調べ、広葉樹と針葉樹の葉や樹皮、樹形などの特徴を探究する。
- ・ 昆虫類、両生類、は虫類等を採集し、調べる。

## 3 発表（20分）

調べた樹種の種類や葉などの特徴、採集した昆虫などについて、班ごとに発表する。

## 4 まとめ（10分）

- ・ 林を構成する樹種、昆虫類等から、様々な生きものが生息していることに気づく。
- ・ 生きものが「食うー食われる」の関係でつながっていることに気づく。
- ・ 里山林の放置問題を取り上げ、遷移と気候変動によって生物多様性が失われる危険があることを考える。

## 受講者の反応

児童の感想など：「木の葉の違い・樹形の違いなど、木の特徴を知ることができた」、「生きものが食うー食われるでつながっていることから、一種類でもいなくなったら自然全体が危なくなってしまう」、「人の都合で里山の豊かな自然が失われていくことを学ぶことができ、里山を守るために何ができるかを考えたいと思った」、「生きもの調べはおもしろかった」など。

# 環境学習の様子（写真） ※表面に写真を掲載している場合は不要

